

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	居室の入口扉に小窓がついており、外から誰でも覗けるようになっている。プライバシーへの配慮という観点から改善が必要。	日頃から利用者のプライバシーに配慮し安心して快適な生活を送って頂くことができる。	扉小窓には覗かれないよう目隠し板を貼付。また、スタッフミーティングの中で利用者のプライバシーについて話し合い見識を深めていく。	3か月
2	45	埋め込み式浴槽の為、身体機能低下により浴槽への出入りが困難な方には、機械浴のある他グループホームへの移動を提案し、選択してもらっている。利用者の重度化に対応すべく入浴方法や環境の検討が必要。	利用者が重度化しても浴槽へ浸かる事ができ変わりなく入浴を楽しんでいただく事ができる。	スタッフの人員配置を工夫するとともに、機械浴の設置など設備面での改善を法人として検討していく。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。